「古典式建築の観光人気」

最近タイ人の間では、古い時代に建てられ、西洋とタイの建築様式が融合した美しい建物を巡る観光が 人気です。

西洋の影響はタイの芸術に深く浸透しており、特に 建築の分野では、西洋とタイの芸術や文化を調和・融 合させた独自の様式が生み出されました。至る所でそ の名残を見ることができます。

今回は、バンコクで最も古典的な様式の建築物を二つ紹介します。

<ジンジャープレッドハウス>

1913年に建てられた築100年を超える木造家屋です。英国のビクトリア朝様式の住宅の影響を受けたジンジャーブレッドハウス建築様式にちなんで名付けられました。

この建築様式は家のあちこちに美しく繊細な透か し模様を使った装飾が施されているのが特徴です。現 在は、訪れる人々が過去の生活の痕跡が残る建物を鑑 賞したり、コーヒーやタイのデザートを楽しめるよう に、カフェ兼博物館として復元・改装され、管理され ています。



【ジンジャーブレッドハウス内部】

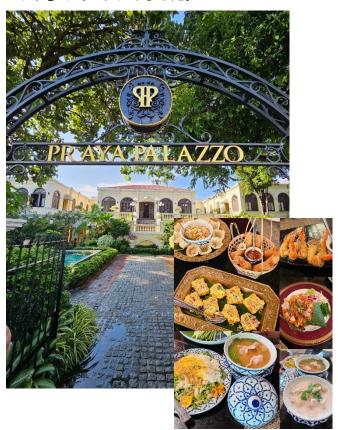
<プラヤパラッツォホテル>

チャオプラヤ川に面したこのホテルは、およそ 100 年前に建設されたレトロで美しい貴族の旧邸宅 です。パラディオ建築様式が採用され、西洋と中国の 要素が組み合わされています。

この邸宅は裕福な中国貴族であったアマット・エック・プラヤ・チョンラフンファニッチによって建てられました。「アマット・エック」は当時の高位の公務員の称号、「プラヤ」は国王が公務員や貴族に授与された称号です。

その後、建物は学校として使用されましたが、 1992年に閉鎖されると放置され、一時は廃墟と化していました。後にタイの建築家であるウィチャイ・ピタクワララートが建物を復元し、「プラヤ・パラッツォ(プラヤの邸宅)」と名付けられました。

2009 年にホテルとして開業し、2017 年には伝統的なタイ料理を提供するレストラン「プラヤ・ダイニング」がオープンしました。



【プラヤパラッツォホテル入口とレストランの伝統料理】

こちらの記事は、中国新聞 SELECT 「最前線ビジネスサポーター発」にも一部掲載されました。